

ブラームス：弦楽四重奏曲第1番ハ短調 作品51-1

Brahms: String Quartet No.1 in C Minor, Op. 51-1

ヴィトマン：弦楽四重奏曲 第3番「狩の四重奏曲」

Widmann: String Quartet No.3, "Hunting quartet"

チャイコフスキー：弦楽四重奏曲 第1番 ニ長調 作品11

Tchaikovsky: String Quartet No.1 in D Major, Op.11

2017年11月30日 木 19:00開演(18:30開場)

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

ロンドン、ボルドーの
国際コンクール2冠制覇
スケール感溢れる、
ロシアの次代を担うクアルテット
待望の大阪公演決定！

アトリウム 弦楽四重奏団

チケット(全席指定)

一般：4,000円

U25：2,000円(1992年以降生まれ)

- ・ ザ・フェニックスホールチケットセンター：
06-6363-7999
- ・ イープラス：<http://eplus.jp>

・都合により曲目、曲順などを変更させていただく場合がございます。
・未就学児のご入場はご遠慮ください。

主催：テレビマンユニオン

協賛：東レ株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

協力：キングインターナショナル



アトリアム弦楽四重奏団

ATRIUM STRING QUARTET

2017年日本ツアー日程

11月25日(土) 青山音楽記念館・バロックザール(京都)＊
11月27日(月) 武蔵野市民文化会館(東京)
11月28日(火) 紀尾井ホール(東京)＊
12月1日(金) サルピテホール(神奈川)
＊共演：エリツヴァルサラージェ(ピアノ)

アトリアム弦楽四重奏団 Atrium String Quartet

セルゲイ・マロフ(ヴァイオリン)
Sergey Malov, violin
アントン・イリュニン(ヴァイオリン)
Anton Ilyunin, violin
ドミトリ・ピツルコ(ヴァイオラ)
Dmitry Pitulko, viola
アンナ・コロヴァ(チェロ)
Anna Gorelova, cello



2003年、世界的権威であるロンドン国際弦楽四重奏コンクール第1位、聴衆賞を獲得。これを契機にまたぐまに国際舞台へ躍り出る。ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲 第5番でBBCラジオ3でのデビュー、さらに、EMIからのCDデビューも実現。そして、2007年第5回ホルバー国際弦楽四重奏コンクールで圧倒的な優勝を飾り、併せて、MMSG賞を受賞する。

2000年、サンクト・ペテルブルク音楽院に学ぶ4人により結成。2003年卒業後は、2006-07年はアムステルダムにてシュテファン・メッツに師事。さらに、2007-09年、ベルリンのハンズ・アインスラー音楽大学に学ぶ。また、アルバン・ベルク四重奏団、フェルメール・クワルテット、東

京クワルテットのメンバーにも指導を受ける。

ロンドンのウイグモアホールやロイヤル・フエス・テイバル・ホールをはじめ、ワシントン、ニューヨーク、パリ、ブリュッセル、ロッテルダム、ジュネーヴ、バルセロナ、サンクト・ペテルブルグと世界の主要都市で演奏。また、ドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭やシェーンゲン音楽祭、フランスのコレター音楽祭、オランダのオーラント音楽祭、ハンガリーのハイボン国際音楽祭、スイスのダヴォス音楽祭などに招待されている。

2009年に初の日本ツアーを行い、東京公演はNHKにて全国放送される。ハンブルク、フランクフルト、ベルリン、ロンドンで再演を重ねている他、スイスのルツェルン音楽祭にも参加。2011/12シーズンは、毎年恒例のイギリス国内ツアーの他、2011年には2度目の日本ツアーでピアノの北村朋幹やギターの太叔康司ら日本を代表する若手奏者との共演。

2008年、ベートヴェンとショスタコーヴィチを収録したCDをリリースし、同年のドイツ・グラモフォン誌のエディターズ・チョイスに選ばれた。最新盤は2016年秋にリリースした「ブラームスVSチャイコフスキー」。

2013年12月、3度目となる日本公演は、ロシアの2大巨匠であるショスタコーヴィチとチャイコフスキーの弦楽四重奏曲全曲演奏という驚異的なプログラムで来日。「ショスタコーヴィチ・マラソン」と名付け、ショスタコーヴィチ全15曲を1日で演奏するという公演は、アムステルダム、フランス、日本(東京・新島)で開催。また、チャイコフスキー弦楽四重奏曲全曲演奏会はNHK「クラシック倶楽部」にて放送された大きな反響を呼ぶ。

現在、ベルリンに拠点を置く。

高い演奏力に世界中が絶賛。 俊英アトリアム弦楽四重奏団がブラームスとチャイコフスキーをガット弦で演奏！

「ブラームス VS チャイコフスキー」

・ブラームス(1833-1897)：弦楽四重奏曲第1番「短調」Op.51-1
・チャイコフスキー(1840-1893)：弦楽四重奏曲第1番「長調」Op.11

アトリアム弦楽四重奏団

【セルゲイ・マロフ(1st Vn)、アントン・イリュニン(2nd Vn)、ドミトリ・ピツルコ(Va)、アンナ・コロヴァ(Vc)】 (カトリック：A=430Hz)
録音：2015年12月15、17、19&21日/福音ルーテル聖カトリック教会(フランクフルト)
●KKC 5764(CD) 輸入盤・日本盤帯解説付 ¥3,000+税

輸入・販売元/株式会社キングインターナショナル <http://www.kinginternational.co.jp>

人は、人と、響きあう。

時代をこえ、国境をこえて、
幸福のハーモニーをもっと広げたい。

私たち東レは、総合科学技術を基盤として、国際的に
多角的な事業活動を展開する一方、
科学、教育、芸術、文化、スポーツ振興を通じて
世界の国々の人々や社会に貢献しています。

‘TORAY’
Innovation by Chemistry

